

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子ども主体の意識を持ち、子どもたちのやりたいことを聞き、指導計画に入れ、できる限り毎日の保育の中で取り入れるようにしている。 ・保育方針や理念が記載されているハンドブックの配布があり見直すことがいつでもできるようにしている。 ・毎年年度初めに子どもたちの状況を共有し全体で園目標、担任がクラス目標を考え計画を立てている。			
	【課題・対策】 ・クラス担任だけでなく全職員とのコミュニケーションがとれるように会議など計画を立て、時間を決め、実行できるようにするとよりよくなると感じている。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園独自の入園面談を行い、子どもの状況を理解するため保護者に細かいところまで伺いコミュニケーションをとり、保護者との連携を大切にしている。 ・慣らし保育は、基本時間はあるものの子どもの様子に応じて時間や期間を設定し対応も行っている。			
	【課題・対策】 ・毎年の事だが、子どものことについて、クラス報告など、全職員に必ず把握、共有できるよう伝達の大切さや報告の重要性を確認していくようにしていく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・感染症予防の為に、換気をしたり手洗いうがい、消毒など基本的な環境を整える。 ・温度、湿度の管理を行うために見える工夫で適切温度や湿度を表示化している。 ・年齢に応じた子どもの動き（動線）の確認をして過ごしやすく工夫をし、玩具の確認や必要な物の相談等職員間で行い購入をするようにしている			
	【課題・対策】 ・換気をいつもしているため、湿度が保たれないこともあるので加湿の方法を考えていく。 ・環境に対する修繕などは迅速な対応を心掛けていく。			
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内の昼礼や会議にて職員間で子どもに関する必要な情報を共有するようにしている。 ・一人ひとりの子どもたちに対してクラスを超えた、担任以外でも個別対応をおこなったり、柔軟な保育を行うようにしている。 ・配慮の必要とする子どもの対応として、個別での面談や専門の先生に来ていただき、アドバイスを受けている。また、療育との連携も行っている。			
	【課題・対策】 ・次年度の引継ぎに時間が取れないこともあるため、次年度の担任となる先生はクラスに入って引継ぎも含めて子どもの様子を知る時間を取る。 ・全職員が子ども一人ひとりに対応ができるよう職員間で教えあう環境を整える。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・アレルギー児の食事は、代替えをせず除去もしくは持ち込みをお願いしている。 ・アレルギー疾患のある子どもの食事提供の対応は、食事する場所を離し、アレルギー児用の食器を使用。食事を提供する際は、声出し確認をし、周りのスタッフと確認をしてから配膳をおこなう。食後の遊び方も工夫して職員間で確認しながら対応をしている。 ・アレルギー児の個人でのテーブル拭きや口拭きもアレルギー児用として用意している。 ・虐待防止の観点から、保護者とのコミュニケーションを大切に、悩みなどにも耳を傾け傾聴したりアドバイスをしている。また、配慮が必要なお子様などにおいては、関係機関とも連携をとり月に1回位は連絡を取り合い早期発見できるよう情報共有をしている。 ・臨床心理士の専門の方が園に来てくださり、子どもへの配慮の仕方などアドバイスを受けることができる。  【課題・対策】 ・アレルギー児に対する安全なスペースが十分といえないのでお部屋の使い方など工夫をする必要はある。 ・職員が配慮を必要とする子どもへの専門性の知識をより高め増やしていくこと。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。  【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・苦情や意見があった時に匿名で出せるよう、園内に意見箱の設置をしている。 ・運営委員を乳児、幼児クラスから1名ずつ選出し、ご意見をまとめて会議時にお話をいただき園内の色々なことを意見交換をしている。  【課題・対策】 ・保護者の方が疑問や意見、悩みなど相談しやすいように、園側から声掛けを意識して行い、お話ししやすい環境を継続して整えていく。
	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
保育内容(あそび)	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながらか会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園で飼育したカブトムシを、希望制にし家庭での飼育体験を楽しんでもらえるように提供している。 ・園独自のカリキュラム、コトバの森の活用し、ipadを利用した体操動画や、リトミックなどを積極的に保育の中に取り入れている。 ・遊びの中に自由工作など取り入れ、子どもたちが考えた自発的な作品を製作できる場を作っている。  【課題・対策】 ・ipadを見る時間を区切って保育に活かせるようにしていく。 ・年齢や発達に応じた玩具をそろえているが、子どもたちの遊び方によって必要数が足りないこともあるので量や種類を毎年見直す機会を設けるようにしていく。			
	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
保育内容(生活)	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・各学年で年齢に合った食育をおこなったり、給食の提供時の盛り付けの工夫で食べ物に興味関心を持ってもらえるように行っている。 ・旬の食材を使い季節感を味わってもらうようにしている。 ・担任の先生と連携をとり子どもの喫食に対応していくよう会議などで話し合いを行っている。 ・保護者向け情報誌である子育てほけっと、給食レシピの配信・掲示・配布を行い、保護者支援をしている。 ・園内会議にて、職員同士給食について、子どもの食について意見交換をし実践し、反省し次に活かしたりと子どもたちが食べたくなるような取り組みをおこなっている。 ・目で見て食べたくなるような盛り付け方や彩りを工夫したりして、PDCAサイクルをおこなっている。また、なるべく給食の消費がなされるよう努力をしている。  【課題・対策】 ・子どもの成長は、日々変化があるため担任間で話し合い共有したものをフリーの先生たちにも忘れず情報共有していけるように、さらに会議記録簿、ミーティングノートなどを活用しながら方法を考える。			

2024年度自己評価表

評価日：2025年2月25日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・コドモンにて成長発達記録の実践、保護者とのこまめな連絡をおこなっている。 ・園内での感染症が流行した場合、コドモンのお知らせ一斉配信・アラートを表示している。			
	【課題・対策】 ・毎年ながら感染症が出てしまうので、情報共有は必ずしていき各家庭での予防にも努めていただくように、保護者へ協力依頼のお知らせなどを配信していくことが必要。			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・室内の換気は、湿度計や温度計を確認しながらこまめに行っている。 ・玩具の消毒を時間を決めて行っている。 ・子ども、職員の手洗いの遂行、アルコールによる手指消毒がいつでもこまめにできるように園内に設置している。			
	【課題・対策】 ・室内の換気や消毒は、日頃からの対策として職員に周知しながら意識していくようにする。			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・避難訓練では第1避難場所、第2避難場所、第3避難場所まで設定しており、被災によって場所が変わるようにしている。第3の避難場所は広域避難場所なので年1回は場所までのルート確認や、災害の予想を立てて職員参加で行うようにしている。 ・子どもが怪我をした時の万が一に備えた応急処置対応訓練を、年1回行っている。 ・怪我が起こりやすい場所にはクッション材やコーナーの保護などを貼り、予防に努めている。			
人権の尊重	【課題・対策】 ・第3避難場所までの広域避難場所までは距離があるため、子どもたちに負担のないルートや計画を見直し訓練する必要がある。			
	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報係は鍵のかかる書庫で管理をしている。
保護者との交流・連携	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・製作の際には自由に色を選んでもらえるようにしている。言葉がけなどで区別がないよう配慮している。 ・子どもを認め、褒める研修など取り入れ保育の場にも実践している。 ・書類持ち出し禁止、園での写真公開についてのアンケート実施を行っている。			
	【課題・対策】 人権等に関するセルフチェックや研修を実施し、職員其々が自分を振り返るためにも毎年1回以上は行うことが対策して必要と考える。			
	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
保護者との交流・連携	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内での情報を保護者にコドモンでお伝えし、ご協力をお願いしたり、連携していただいている。			
	【課題・対策】 ・担任が固定シフトの為、保護者に会えない場合もあるのでシフト交代などで対応できるようにする必要がある。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日（要予約）を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようにしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・1か月に1回の園庭開放や、2ヶ月に1回、まめちゃん広場（近隣の方との交流会）を行っている。また、地域交流ではニコニコ広場にも参加をしている。 ・給食のレシピなど近隣の方に情報として提供できるよう掲示している。 ・身長、体重計測器の貸し出し、港北区のベビーステーションとして機能を果たしている。		
		【課題・対策】 相談のみのご利用の方が少ないので、イベントの実施が分かるようにホームページでの案内や、地域の方に看板に掲示などを行いもっと気軽に来ていただけるようアピールしていく。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎月1回園庭開放を行い、2ヶ月に1回は地域交流イベントのまめちゃん広場を行い園での体験、経験をしていただいている。 ・夏祭りなど園の行事を通して地域開放をし地域の方々と交流を図っている。		
実習生・ボランティアの受け入れ		【課題・対策】 地域開放が地域の方に浸透していくために、園での掲示や地域のコミュニティなどに宣伝広告を置いていただいたり、知っていただくきっかけとし情報提供を増やしていくことが必要。 ・暑い時期が多くなっているため、参加していただける工夫が必要。		
	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・いろいろな体験経験をしていただくためにオリエンテーションを行い要望を伺い本人が実践できるようにしている。		
職場の人材育成		【課題・対策】 たくさんの学生に来ていただくために、地域の情報提供してくださる機関などを利用して園を知っていただけるようにしていく事が課題と感じている。		
	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
職員の技術の向上		【地域・園に応じた独自の取り組み】 スタッフの個別面談を年回2回行い、個々の目標についての自己評価は毎月程度行い、保育の振り返りなどを行いやすいようにしている。 具体的な目標設定を行うことで、より取り組みやすくしている		
	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
経営管理		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・コードモンの利用により、ipad.ipotの使用を増やし計画や記録をスムーズにできるように、また時間短縮として有効な利用の仕方を行なっている。		
		【課題・対策】 ・自己評価をするにあたり、反省や振り返りなど、積極的に時間を作っているが十分ではないため意見交換ができる時間や日程を調整する必要がある。		
	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年度のはじめに、個人情報の遵守、倫理について、日々の保育で守るべきものを研修、再確認している。 ・園独自のハンドブックを使って年1回以上研修を行っている。 ・会社が発行している社内通信G-NEWSを、スタッフが閲覧できるようにしている。		
		【課題・対策】 ・園運営に関する必要な情報を精査し、職員に教えていく機会を作る。		

2024年度自己評価表

評価日：2025年2月25日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対しての反省・課題（事業報告書へ）	【園目標】			
	1. 毎日楽しみに登園できる環境づくりをする。			
	2. お互い認め合って協力し合い保育をする。			
	3. 保護者一人ひとりに寄り添い連携して子どもの成長と一緒に見守る。			
	【自己評価反省・課題】			
	1. 子どもたちが毎日登園を楽しみにできるよう環境を整え、子どもの要望や希望をかなえながら 子どもが自ら遊べる環境作りを行った。子どもたちが、遊びを選んで集中している姿もあり結果は良かったと感じている。しかしスペースの問題で持続的で継続的な遊びが今年もなかなかできていないことが課題に残った。次年度も職員会議などでこの件を議題としてみんなで考えていけるようにしていきたい。			
	2. 職員同士のコミュニケーションの場を多く取れるよう休憩場所など統一したり、会議も計画的に行えるよう計画を立てていった。お陰で保育の中でお互い協力する姿も見られとても充実した保育が出来ていた。今後はさらに、お互いを認め合うことの意識をもてれば、さらに保育が高めていけるのではないと思う。			
	3. 保護者の方の相談事、意見や要望を、日々の引継ぎや日常の会話、そして面談などから伺い、直接お話ができる面談や相談につなげていった。お話の場では保護者の気持ちを共有し理解していけるように努めた。お話をする機会につなげられたことで保護者にとって、子どもの成長についての不安や困ったことなどが解決でき、子どもたちの成長を保護者とともに見守っていったのではないと思う。これからも保護者に寄り添い、いち早く解決できるよう努めていけるように日々寄り添う気持ちを大切に対応を心掛けていくことが必要と感じている。			